

日本皮膚科学会 第239回 熊本地方会

学 術 講 演 会 演 題

期日：令和5年12月17日(日)

午後1時40分～

会場：ハイブリッド開催

くまもと県民交流館パレア 10階
パレアホール
熊本市中央区手取本町8番9号

日本皮膚科学会熊本地方会

〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号
熊本大学大学院生命科学研究部皮膚病態治療再建学講座内

TEL 096-373-5233

FAX 096-373-5235

※ 現地参加・Web参加に関わらず事前登録による受付をお願いいたします。

聴講について

第239回熊本地方会は現地とWEBのハイブリッド開催とさせていただきます。当地方会へのご参加には現地参加、WEB参加問わず事前登録が必要です。会員の皆様にはご不便をおかけいたしますが何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

また、WEB参加による演題の視聴にあたっては、Zoomを使用いたします。事前にZoom公式ホームページ <https://zoom.us/download> にアクセスのうえ、アプリケーションをダウンロードしていただきますようお願いいたします。Zoomアプリケーションは頻繁にアップデートされますので、すでにダウンロードをお済ませの場合にも必ずアップデートをお願いします。バージョンが古いと視聴できない場合があります。

事前登録を完了されましたら事務局よりミーティングIDとログインパスワードを送付いたします。

当日のアクセス集中によるサーバーダウンを避けるため、ご視聴の際に使用されるデバイスは1台に限定していただくようお願いいたします。

なお、当日は開始時刻15分前の午後1時25分からログイン可能です。開始までの間、質疑応答の方法などをスライドでご案内いたしますので、お早めにログインをお願いいたします。

1. 会場参加される会員様へ

◆参加受付

会場にて受付を行います。専門医の単位取得を希望される場合は、14:45までに受付をお済ませください。必ず日本皮膚科学会会員証をご携行ください。

参加費：熊本地方会会員 1,000円 非会員 5,000円

2. WEB参加される会員様へ

※情報漏洩防止のため、日本皮膚科学会会員であり事前登録をお済ませの方に限ります。

◆参加受付

事前参加登録制

登録期間：11月24日(金)～12月10日(日)

登録方法：事務局よりメールにて事前登録用のURLをご案内いたします。

URL：https://app.payvent.net/embedded_forms/show/655b40fecdd26e4afc8ef7f1

上記URLへアクセスしていただき、案内にしたがって必要事項を入力し、登録をお願いいたします。事務局より13日(水)(予定)に当日のミーティングIDとパスワードをお知らせいたします。

参加費：熊本地方会会員 1,000円 非会員 5,000円

クレジットカード等のオンライン決済が可能です。



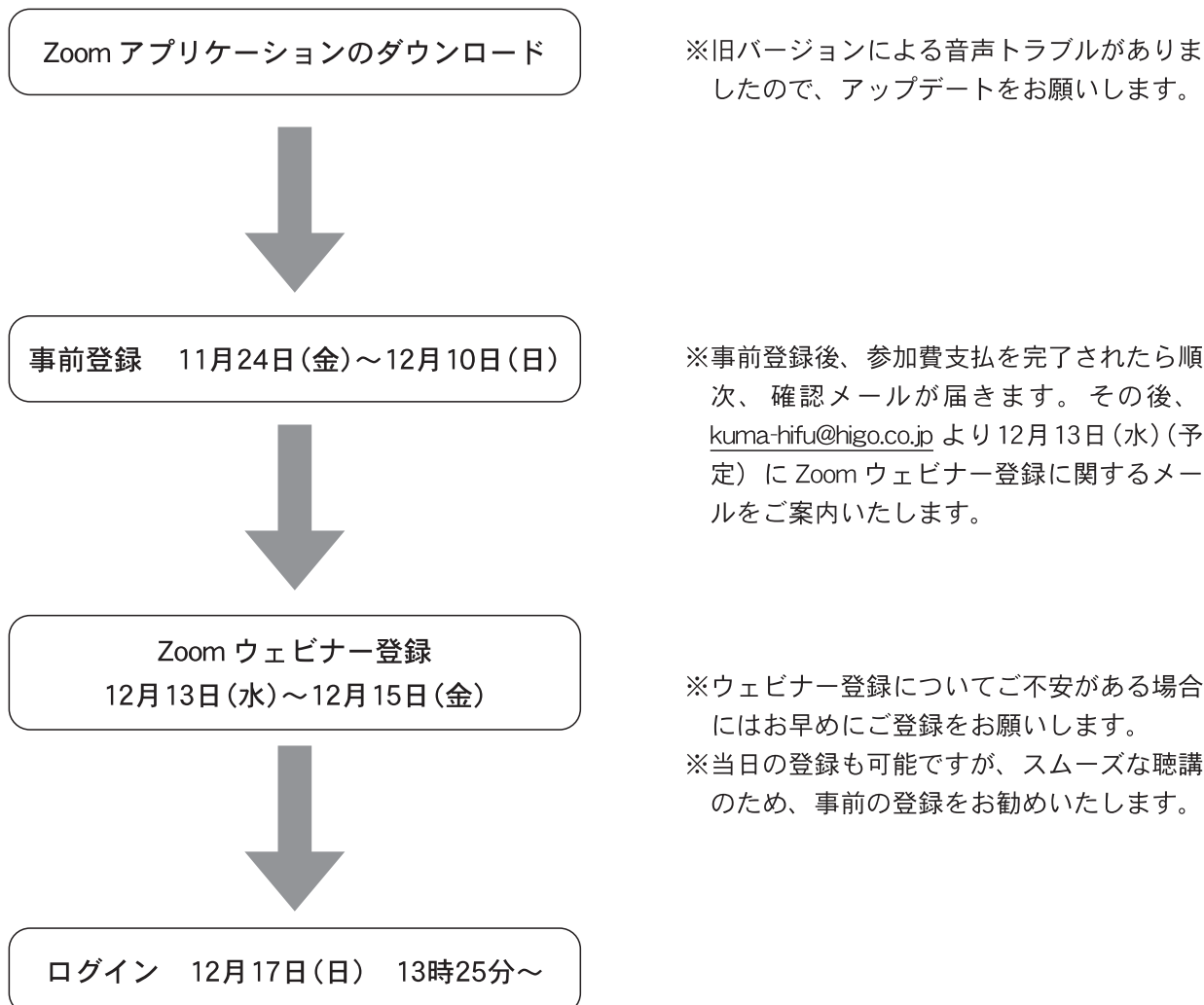
事前登録用二次元コード

◆トラブルが生じた場合

サーバーダウンなどのトラブルが生じた場合にはその旨を事務局が日本皮膚科学会に報告いたします。定刻までにログインできなかった場合でも、まずはログインしていただきログイン履歴を残していただきますようお願いいたします。ログイン履歴は事務局から日本皮膚科学会に届け出ますが、単位認定の可否については日本皮膚科学会の判断となります。

アクセス集中によるサーバーダウンを回避するため、ログインするデバイスは1台限りとし、お早めにログインしていただきますよう重ねてお願い申し上げます。事前登録を行ったのにも関わらずログインができなかった場合は、地方会終了後すみやかに kuma-hifu@higo.co.jp へメール連絡をお願い申し上げます。

◆WEB 聴講の流れ



*質疑応答の際に支障がございますため、Zoom ログインの際には本名を表示していただきますようお願いいたします。

新専門医制度における単位取得について

単位が付与されるためには、受講履歴の取得が必要です。受付時間までに受付またはログインし、受講履歴を取得してください。受付時刻を過ぎた後に受講履歴を取得することはできません。

WEB視聴による場合にはログイン、ログアウトの時間が履歴として残りますので、講演の終了までご視聴いただきますようお願いいたします。

一般演題

取得単位数 1 単位（皮膚科領域講習）

受付時間 14:45まで

特別講演

取得単位数 1 単位（皮膚科領域講習）

受付時間 17:45まで

※講演開始直前はアクセスの集中が予想されます。お早めにログインをお済ませください。

学術集会及び学会機関紙での発表の際、COI（conflict of interest）事項の自己申告が義務付けられており、熊本地方会におきましても発表の際に COI 開示が必要となります。

発表内容の一部あるいは主要部分に関連して開示すべき利益相反関係にある企業・法人組織や営利を目的とした団体の有無につき発表のスライドに必ず明示して下さい。

様式1B

日本皮膚科学会 COI 開示

筆頭発表者名

演題発表に関連し、開示すべき利益相反(COI)関係にある企業・法人組織や営利を目的とした団体などとして、

①顧問:	〇〇製薬	開示すべき内容がある項目のみ記載
②株保有・利益:	〇〇製薬	
③特許使用料:	〇〇製薬	
④講演料:	〇〇製薬	
⑤原稿料:	〇〇製薬	
⑥受託研究・共同研究費:	〇〇製薬	
⑦奨学寄付金:	〇〇製薬	
⑧寄付講座所属:	〇〇製薬	
⑨贈答品などの報酬:	〇〇製薬	

交通案内



※お車でお越しの場合には近隣の駐車場をご利用ください。

JR 熊本駅から

- 市電：23分（「水道町」電停下車）
- 熊本都市バス、九州産交バス、熊本電鉄バス、熊本バス：17分（「水道町」バス停下車）、15分（「通町筋」バス停下車）
- タクシー：15分

熊本交通センターから

- 市電：11分（「辛島町」電停乗車～「水道町」電停下車）
- 熊本都市バス、九州産交バス、熊本電鉄バス、熊本バス：8分（「水道町」バス停下車）、6分（「通町筋」バス停下車）
- タクシー：5分

熊本空港から

- 九州産交バス（空港専用リムジンバス）で40分、「通町筋」バス停下車

九州自動車道

- 益城熊本空港インターチェンジから 車で30分（約7.5km）
- 熊本インターチェンジから 車で30分（約7.8km）

日本皮膚科学会 第239回 熊本地方会 12月17日(日曜日)

13:00～	受付
13:40～14:20	スポンサードセミナーⅠ 谷崎 英昭 先生 関西医科大学 皮膚科学講座 教授 協賛：アッヴィ合同会社
14:30～16:30	一般演題 皮膚科領域講習 1単位（日本専門医機構単位認定済）
16:40～17:20	スポンサードセミナーⅡ 名嘉真 武國 先生 久留米大学 医学部 皮膚科学教室 主任教授 協賛：プリストル・マイヤーズスクイブ株式会社
17:30～18:30	特別講演 窪田 直人 先生 熊本大学大学院生命科学研究部代謝内科学講座 教授 皮膚科領域講習 1単位（日本専門医機構単位認定済）

❀ ご 案 内 ❀

地方会終了後に令和5年熊本大学皮膚科・形成外科同窓会（悠飛会）総会・忘年会を開催いたします。

総 会 19:00～19:10（予定）

忘年会 19:10～（予定）

場 所 熊本ホテルキャッスル 11階 トゥールドシャトー
〒860-8565 熊本市中央区城東町4-2
TEL：096-326-3311

13:40～14:20 スポンサーセミナーⅠ

座長：福島 聡

谷崎 英昭 先生

関西医科大学 皮膚科学講座 教授

「アトピー性皮膚炎治療 最新の topics
～ウパダシチニブのポジショニングを見直す～」

協賛：アッヴィ合同会社

14:30～16:30 一般演題

皮膚科領域講習（1単位）

14:30～15:30

座長：金澤 早織

1. ミニレクチャー（3）パーカーインク法の過去と未来について

○池田 勇（社会保険大牟田天領病院）

〈皮膚科の日常診療のヒントとなることについてのミニレクチャー 3回めです〉

皮膚真菌症の確定診断法として、苛性カリ水溶液を用いる KOH 法が用いられるが、かつてはパーカーブルーブラックインクを等量混合して染色を行っていた。マラセチアや胞子も確実に検出できる優れた方法であったが、インクが新しくなるとともに染まりにくくなったと噂され、1990年台以降インクが苛性カリとの混和で混濁するようになり施行できなくなった。パーカー社の技術者がこの染色法につき記した1965年の論文を紹介し、なぜパーカーインクが使われたのか、なぜ染色性が悪くなったのかにつき解説する。また、パーカー“ブラック”インク法や市販の染色液、Chicago sky blue 1.2%水溶液を用いた代替法についても紹介する。

2. Pseudo-Darier Sign を認めた平滑筋母斑の 1 例

○難波実那子、島田秀一、金澤早織、梶原一亨、福島 聡（熊本大）、市原麻子（熊本市）

生後 2 ヶ月、男児。生後 3 日目に母親が右側胸部の一部隆起した淡褐色斑に気づいた。生後 3 週頃に前医を受診し、当科紹介受診となった。初診時には右側胸部に手掌大の境界やや不明瞭な淡褐色斑を認め、同部位を擦過すると発赤を伴う隆起が誘発された。表面には発毛を伴っているが、圧痛、皸は認めなかった。病理組織学所見としては、真皮浅層を主体に好酸性に染まる平滑筋線維の束状ないし塊状の増生がみられた。以上より Pseudo-Darier Sign を伴った平滑筋母斑と診断した。家族の切除希望がなく、経過観察の方針とした。Pseudo-Darier Sign を認めた平滑筋母斑の報告は少なく、文献的考察を加えて報告する。

3. 先天性表皮水疱症の一例

○鈴木健久、加口敦士、緒方亜紀（熊本市市民病院）、福島 聡（熊本大）

月齢 1 日男児。近医産科にて出生。出生時に両足関節、左膝関節にびらんを認めたため同日当院新生児内科に転院。先天性表皮水疱症、色素失調症、先天性皮膚欠損症などを考えた。外用加療を行いつつ遺伝子検査を行い栄養障害型表皮水疱症の診断となった。先天性表皮水疱症は出生時より軽微な外力で全身の皮膚に水疱を形成する遺伝性疾患で、単純型、接合部型、栄養障害型、その他の 4 病型に分類される。今回、臨床所見、遺伝子検査から栄養障害型先天性表皮水疱症と診断した 1 例を経験したので報告する。

4. 造影 MRI が診断に有用であった限局性強皮症の 1 例

○田中憲一郎、小原千明、松尾敦子（くまもと森都総合病院）

48歳、女性。初診 3 年前から右乳房内側の硬結を自覚、徐々に前胸部に拡大し乳腺外科を受診した。炎症性乳癌を疑われ乳腺および腋窩リンパ節の吸引細胞診を実施したが悪性所見を認めず、精査目的に当科紹介となった。右乳房内側から正中に 7.5 × 5 cm 大の発赤を伴う弾性硬の皮下硬結を認め、正中と左胸部、左上腕に同様の皮下硬結を認めた。皮膚生検では真皮膠原線維の増生を認めた。造影 MRI では不整な皮膚肥厚と直下の網状の不均一信号域を認め線維化に合致する所見であった。これらの結果から汎発型限局性強皮症と診断した。PSL 25 mg/日内服を開始し、皮膚硬化の軽減と硬化領域の範囲縮小を認めた。現在も少量ステロイド内服にて加療継続中である。

限局性強皮症の診断においては一般的に病変部の皮膚生検が有用であるが、時として膠原線維の増生を証明しにくい場合がある。造影 MRI など有用であったため文献的考察を追加して報告する。

5. 歯科金属アレルギーから生じた光沢苔癬の一例

○大溝耕一郎、新森大佑（荒尾市立有明医療センター）、池田 勇（社会保険大牟田天領病院）

32歳男性。初診3ヶ月前より上肢に掻痒性丘疹が出現し、近医皮膚科受診しステロイド外用と抗ヒスタミン内服にて加療されたが、改善なく皮疹は体幹部へ拡大した。当院初診時、四肢体幹に光沢を伴う淡紅色小丘疹および口腔粘膜の白色線条を認めた。前腕、腹部皮疹からの生検にて苔癬型皮膚反応を認め、口腔内扁平苔癬を合併した光沢苔癬と診断とした。金属アレルギーの既往および歯科金属の封入歴があったことより、金属パッチテストを施行、結果ニッケルとパラジウムに陽性反応を示した。その後歯科金属の除去を行い経過観察したところ、皮疹は自然消退した。

金属アレルギーによる扁平苔癬は有名であるが、光沢苔癬様の臨床所見を示す例は報告が少ない。光沢苔癬と扁平苔癬の関係を示した過去の文献からの考察を交えて報告する。

6. エンホルツマブ・ベドチン投与後に Stevens-Johnson syndrome を発症した一例

○浦田和美、柏田香代、難波実那子、澤村創一郎、梶原一亨、福島 聡（熊本大）、山村智子（同 泌尿器科）

51歳男性。左下部尿管癌（cT3N2M0, stageIV）に対して、化学療法（ゲムシタビン＋カルボプラチン）、免疫チェックポイント阻害薬（ペムブロリズマブ）を行うも不応であった。第3選択薬としてエンホルツマブ・ベドチンを週1回、3週間連続で投与して4日目、38度台の発熱、間擦部を中心とした紅斑、水疱形成、眼球結膜の充血、頬粘膜の広範囲のびらんを認めた。病理組織検査では、表皮は全層性に壊死しており Stevens-Johnson syndrome と診断した。同薬剤を中止し、ステロイドパルス療法に続いてプレドニゾン（1mg/kg/day）を投与したが、水疱の新生と下血を認めた。選択的血漿交換を2回行い、皮疹の拡大は止まり、第23病日までにびらんは上皮化した。エンホルツマブ・ベドチンは2021年9月に本邦で承認された進行期尿路上皮癌に対する治療薬で、抗 Nectin-4 抗体と低分子薬剤を結合させた抗体薬物複合体である。Nectin-4 は正常皮膚にも発現しており、同薬剤による重症薬疹の症例が今後も増えることが予想される。

15:30 ~ 16:30

座長：新森 大佑

7. 当院での乳児血管腫に対するヘマンジオルシロップ®の管理方法及びレーザー治療併用について

○古荘晶子、金澤早織、牧野雄成、福島 聡（熊本大）、山下淳二、城野剛充（熊本労災病院）

3ヶ月女児、口唇の腫瘍型乳児血管腫に対してプロプラノロール（ヘマンジオルシロップ®）を導入した。導入後低血糖や低血圧、喘鳴発作などの副作用はなく、3.0mg/kg/day まで漸増した。現在近医にて経過観察中で縮小傾向である。従来、ヘマンジオルシロップ®の経過観察は概ね当院で行って

たが、乳幼児の場合、家族が近医での経過観察を望まれる場合もある。当院での乳児血管腫に対するヘマンジオルシロップ[®]の管理方法やご家族に対する服薬指導方法をご紹介し、注意点や、漸減・中止のタイミングについてご提示する。また、当院で行なっているレーザー治療との併用療法についてもご紹介したい。

8. 右肩に生じた無色素性悪性黒色腫の1例

○中 弁護、市村知佳（JCHO 熊本総合病院）、岡崎美知治（八代市）

91歳男。数ヶ月前より右肩の自覚症状のない紅色結節が徐々に増大したため当院紹介受診した。初診時、右肩に12 cm 大の境界明瞭な紅斑があり、内部に3 cm 大で表面に潰瘍を伴う広基有茎性の紅色結節を認めた。腋窩表在リンパ節は触知せず。ダーモスコピー上は色素病変を示唆する所見なし。全摘生検による病理組織検査は、潰瘍を伴う左右対称的な広基有茎性の結節性病変で、真皮全層に核小体が明瞭でクロマチンに富む類円形の核を有する不整形の腫瘍細胞が胞巣を形成し、一部で核の大小不同や核分裂像がみられた。結節周囲の紅斑部は真皮浅層の血管周囲性にリンパ球主体の炎症細胞浸潤があるも腫瘍胞巣はなし。腫瘍茎部に腫瘍胞巣はなく、腫瘍細胞内にメラニン顆粒は明らかではなかった。脈管浸潤はなし。免疫染色で腫瘍細胞はS-100蛋白、MelanA、HMB-45陽性であった。Tumor thickness 4 mm、側方・深部断端陰性、cT3bN0M0Stage II Bの無色素性悪性黒色腫と診断した。現在のところ再発、転移は認めないが慎重に経過観察している。

9. アダリムマブが有効であった集簇性ざ瘡型化膿性汗腺炎の1例

○宮城大智、島田秀一、柏田香代、福島 聡（熊本大）、大山文悟（熊本市）

10代男性。X-1年、顔面、背部に紅色丘疹と膿疱が出現し、尋常性ざ瘡の診断で外用薬による治療を開始された。X年5月、病変が多発するようになり、抗生剤内服、ざ瘡治療外用薬、プレドニゾロン5 mg/日内服で治療するも症状が増悪したため、X年8月当科に紹介となった。初診時、前額部、両側頬部、下顎部には有痛性の紅色丘疹・結節が集簇し癒合して局面を呈し、一部排膿を認めた。また前胸部、背部には有痛性結節が多発していた。病変部の細菌培養では皮膚常在菌のみが検出され、集簇性ざ瘡型化膿性汗腺炎と診断し、アダリムマブを導入した。投与開始2年後、頬部・下顎部に瘢痕を認めるものの炎症性皮疹は消退した。2019年にアダリムマブが本疾患に保険適用になる以前にはステロイドの全身投与が検討された症例と考えられるが、長期にわたるステロイド投与は副作用と合併症が問題になることが多い。文献的考察も踏まえ報告する。

10. 診断確定に苦慮した *Sporothrix globosa* による固定型スポロトリコーシスの1例

○中原智史、哈 斯塔、石橋卓行、牧野公治（熊本医療センター）、
矢口貴志（千葉大・真菌医学研究センター）

48歳男性。当科初診1年前より右手首に水疱が出現し、1ヶ月前より膿疱と痂皮が繰り返し出現し局面を形成するようになり当科を紹介受診した。土木作業に従事していることから皮膚真菌症を鑑別に生検した。リンパ球や形質細胞、多核巨細胞が浸潤し深在性真菌症に合致する病理所見だったが、PAS染色や組織培養では真菌を検出できなかった。*Staphylococcus aureus*を検出したのでその影響を考えCEX内服やフンジン酸Naやジフルプレドナートの軟膏外用を行ったが消退せず、初診7ヶ月後に再度皮膚生検を行った。前回同様の病理所見が得られ、組織を13日間培養したところ *Sporothrix* 属真菌が検出された。遺伝子解析した結果 *Sporothrix globosa* と同定された。固定型スポロトリコーシスと診断し、ヨウ化K内服およびカイロによる温熱療法を行い、局面は徐々に縮小している。

11. 乳癌患者に生じた丹毒様癌の1例

○押川由佳、山下淳二、城野剛充（熊本労災病院）、林 裕倫（同 乳腺外科）

87歳、女性。9年前に左乳癌に対し左乳房部分切除術および左腋窩リンパ節廓清術施行後に放射線治療などが行われた。5年前、右腋窩リンパ節転移を認め廓清術施行。3年前よりCEA上昇、画像検査で大動脈弓部などに多発する腫大リンパ節を認め化学療法が行われていた。2年前頃より前胸部に紅斑あり、very strongクラスのステロイド外用を続けていたが拡大傾向であり当科紹介。前胸部に軽度の浸潤を伴う一部環状を呈する紅斑を認めた。自覚症状なし。一旦抗真菌剤外用で治療するも不変であり一部生検施行。真皮に拡張したリンパ管と管内に充満する腫瘍細胞を認め、免疫染色の結果より乳癌による丹毒様癌と診断した。

16:40～17:20 スポンサーセミナーⅡ

座長：坂元 亮子

名嘉眞 武國 先生

久留米大学 医学部 皮膚科学教室 主任教授

「乾癬に対する TYK2 阻害薬の期待と実力
～自験例も交え～」

協賛：ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社

17:30～18:30 特別講演

座長：福島 聡

窪田 直人 先生

熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学講座 教授

「2型糖尿病の病態と薬物治療
～皮膚科との関連をめぐって～」

皮膚科領域講習（1単位）

* おしらせ *

○学会参加費について

〈熊本地方会会員〉

受付または事前登録の際に学会参加費 1,000円をお支払ください。

〈熊本地方会非会員〉

受付または事前登録の際に学会参加費 5,000円をお支払ください。

熊本地方会会員でない先生のうち一般演題発表をされる先生は参加費 1,000円をお支払ください。

○一般演題：講演時間 7 分、質疑応答 4 分

○PC 映写とします。(画面比は16：9を推奨いたします)

○PC：発表会場にてご用意する PC は Windows Microsoft PowerPoint 2019 です。

Power Point にて作成したスライドが映写可能です (受付可能データは Windows Microsoft PowerPoint 2013以降※最新は ver. 2019)。

ご自身の PC を使用される場合には予め事務局までお問い合わせ下さい。Mac の場合は必ず電源アダプター、HDMI 出力端子変換をご持参ください。(D-sub15pin 端子はお受けできません)

持ち込み可能メディア：USB メモリ

※当日 PC 受付を設置いたします。セッション30分前までに受付にてご確認をお願いいたします。

スライドの前進・後退はご自身で操作してください。

後実績受講証の受付時間は13時00分～17時45分までとなっております。

受付時間を過ぎての受講証の発行は行いません。ご了承のほどお願い申し上げます。

○新型コロナウイルス感染症防止対策について

具合の悪い方、発熱等の風邪症状がある方、濃厚接触者となった場合で接触から 2 週間を経過していない方は、会場参加をお控えください。

会場では常時マスクを着用し、こまめな手洗い、咳エチケットを徹底してください。会場にマスクは準備いたしませんので、各自ご準備ください。

会場内では密接を避け、人と人との間隔 (原則 2 m 少なくとも 1 m 以上) を十分確保してください。

セミナーご担当のスポンサー様は、ゴミの回収時には必要に応じてマスクや手袋を着用してください。



効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤 薬価基準収載

オルミエント錠 4mg
2mg

olumiant® (baricitinib) tablets バリシチニブ錠

創薬・処方箋医薬品 注意—医師等の処方箋により使用すること



製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区磯上通5丁目1番28号



ヒト化抗ヒト IL-17Aモノクローナル抗体製剤

生物由来製品・創薬・処方箋医薬品*

トルツ 皮下注 80mg オートインジェクター
皮下注 80mg シリンジ

イクセクズマブ(遺伝子組換え)注射液

薬価基準収載

taltz
(ixekizumab)
injection

*注意—医師等の処方箋により使用すること

●トルツ®の情報はインターネットでご覧になれます。



<https://taltz-doctor.jp>



<https://taltz-patient.jp>

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については、電子添文をご参照ください。

製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区磯上通5丁目1番28号

PP-IX-JP-5409
2023年8月作成



ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体 薬価基準収載

デュピクセント[®] 皮下注 ペン
300mg シリンジ

DUPIXENT[®] デュピルマブ(遺伝子組換え)製剤

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

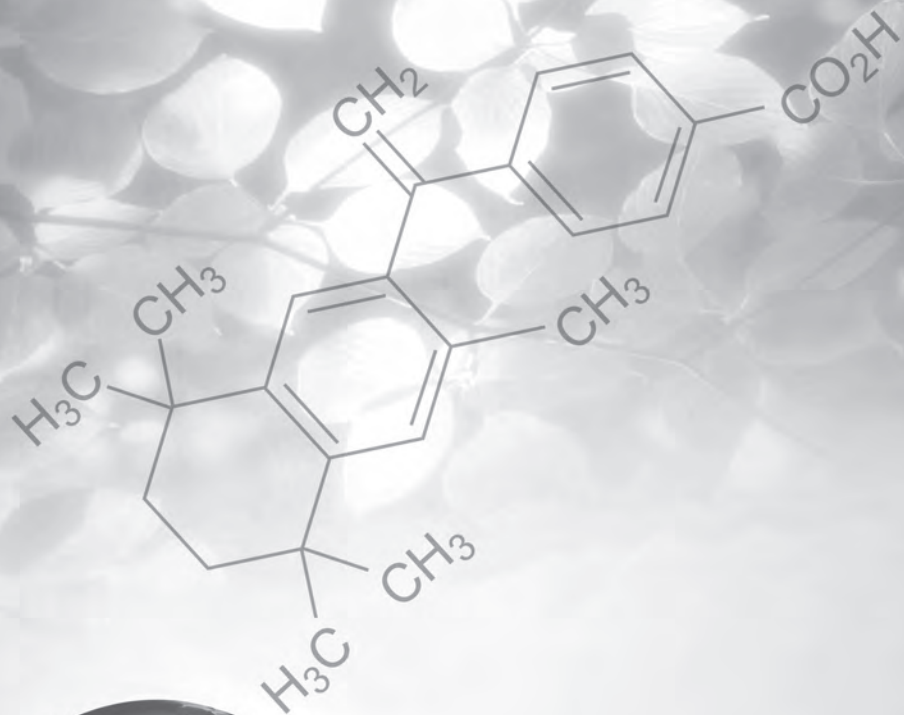
「効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。

MAT-JP-2306432-1.0
2023年10月作成

製造販売元: **サノフィ株式会社**

〒163-1488
東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

販売提携: **リジェネロン・ジャパン株式会社**



抗悪性腫瘍剤 劇薬、処方箋医薬品^{注)}


薬価基準収載

タルグレチン[®] カプセル75mg

Targretin[®] capsules 75mg ベキサロテンカプセル

注)注意-医師等の処方箋により使用すること

* 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

[製造販売元]  株式会社 ミノファーマ製薬

文献請求・製品情報お問い合わせ先：東京都新宿区西新宿3-2-11
TEL 03-5909-2322 (くすり相談窓口)

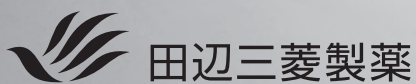
2016年4月作成
16A010_AA4

選択肢をつくる。 希望をつくる。

なんでも選べるこの時代に、
まだ選択肢が足りない世界があります。
そこでは、たったひとつの選択肢が生まれることが、
たくさんの希望につながります。
だから、田辺三菱製薬はつくります。

病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。

この国でいちばん長く培ってきた
薬づくりの力を生かして、
さまざまな分野で、挑みつづけていきます。
そこに待っている人がいるかぎり。



田辺三菱製薬

<https://www.mt-pharma.co.jp/>